

六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018 六甲山 天覧台のアート作品復活 10月13日(土)から展示再開!

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:秦雅夫)とそのグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)は、2018年9月8日(土)から11月25日(日)まで、六甲山上の各施設において、現代アートの展覧会「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018」を開催しています。

本展が開催して9日目の9月16日(日)に、六甲ケーブル 六甲山上駅に隣接する「TENRAN CAFE」のテラスに展示していた作品「動物たちも景色を見ている」(笠井祐輔)が人為的に壊されているのを従業員が発見*しました。3体あった作品のうち1体は無くなり、残る2体は足を折られるなどの損傷がみられました。

その後、作品をいったん回収・保管し、修復の方法を検討していましたが、制作者である笠井祐輔氏の尽力によって修復が施され、10月12日(金)に設置を行い、13日(土)から展示を再開する運びとなりました。

*9月16日(日)時点で、兵庫県警へ被害届を提出し、10月11日(木)現在、器物損壊容疑で捜査中です。

展示を再開する作品

アーティスト名:笠井祐輔 (かさい ゆうすけ)

作品名:動物たちも景色を見ている

展示会場名: TENRAN CAFE

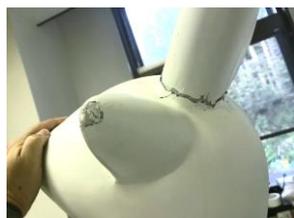
<内容>

作品のテーマは人間と動物の共存、関係性です。六甲山にも多くの野生動物が生息していますが、ここで展示されているのは鹿とイタチと小鳥です。そして鑑賞者が横に並んで3体の彫刻と一緒に景色を眺めるときにこの作品は完成します。人間と動物が凝視し合うのでは無く、肩を並べて同じ方向を見つめているのは少し不思議な光景です。野生動物も人と同じ景色を見ている…。そこに着眼した作品です。



「動物たちも景色を見ている」笠井祐輔 ※破壊される前の展示風景

破壊後の様子 ※9月16日(日)撮影



足を折られたり、表面(表面素材:FRP)を破壊されたりと、随所に損傷がみられました。

※作品を回収してから現在まで、お客様から「見たい作品のひとつだったのに」「いつ展示を再開するのか」等のお問い合わせも多数ありました。



笠井祐輔 (かさい ゆうすけ)

1987年 大阪府生まれ
大阪府在住
2011年 大阪芸術大学
芸術学部デザイン学科卒業

資料に関するお問い合わせ先

六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018 事務局 広報担当

TEL:078-894-2210(平日9:00~18:00) / FAX:078-894-2088